



## 2015年度京カレッジ 京都力養成コース京都学講座

開講15年特別企画

# 京のまつりと賑わい



京都には、四季それぞれに伝統ある祭りや行事がひしめき合っています。

中には葵祭や祇園祭のように、全国にその名を知られた著名な祭りもあれば、

一方では、人知れずひっそりと行われている行事もあります。

しかし、それらはすべて、千年の古都に暮らす人々の祈りの表象であるといえるでしょう。

今回のシリーズでは、ある時は江戸時代の都人の暮らしに想いを馳せ、

ある時は現代の祭りをイメージしつつ、

京都に根ざした民俗行事と庶民信仰の諸相について解き明かします。



開講期間  
[全14回]

2015年4月25日(土)～2016年1月16日(土)

時間／10:00～11:30(受付9:30～)

開講会場

キャンパスプラザ京都(4階第2講義室)



第1回  
4/25(土)

葵祭

第8回  
9/19(土)

すいき祭

～西之京に息づく天神信仰

第2回  
5/9(土)

葵祭～平安王朝の雅

第9回  
10/3(土)

時代祭

第3回  
5/30(土)

戦国時代の祇園祭

第10回  
10/10(土)

鞍馬の火祭

第4回  
6/6(土)

祇園祭の染織品

第11回  
10/24(土)

霜月の御火焚と大根焚

第5回  
6/27(土)

祇園祭と山鉾

第12回  
11/28(土)

おかげまいり  
～賑わいを支える匠たち

第6回  
8/1(土)

京のお盆  
～家の行事から五山の送り火まで

第13回  
12/12(土)

師走から正月の祓えと悔過

第7回  
8/8(土)

愛宕信仰と火のまつり  
～暮らしと信仰

第14回  
1/16(土)

節分～春を招く行事と鬼

実地講座  
7/21(火)

祇園祭と京料理  
会場：中村楼

実地講座  
12/9(水)

大根焚

会場：了徳寺



公益財団  
大学コンソーシアム京都  
法人 The Consortium of Universities in Kyoto

# 京都学講座「京のまつりと賑わい」申込方法

「京のまつりと賑わい」は14回の講座で構成されています。講座への参加は、京カレッジ生として全14回に出願する方と1講座ごとに参加する方法の2種類があります。実地講座は京カレッジ生のみお申し込みいただけます。

## 京カレッジ生として受講する

◇受講料 10,000円（全14回） ※実地講座は別途費用が必要です。

◇申込方法 「京カレッジ生募集ガイド」に添付の出願票で申し込んでください。出願票は大学コンソーシアム京都のホームページから登録・印刷ができます。

◇提出書類 ①出願票1部

②京カレッジ会員証用顔写真（縦3cm×横3cm）1枚

◇提出期間 《郵送》2015年3月10日(火)～21日(土・祝)必着

※持参は20日(金)・21日(土)10:00～16:00の2日間、キャンパスプラザ京都で受け付けます。

◇提出先 公益財団法人大学コンソーシアム京都（京カレッジ担当）

【注記】1.申込方法の詳細は京カレッジ募集ガイドにてご確認ください。

2.定員(250名)を超過した場合は抽選により受講の可否を決定しますのでご了承ください。

3.受講可否の案内は4月初旬に郵送いたします。

4.実地講座の申込方法等の案内は受講可となった方に同封してご案内いたします。

5.受講の可否についてのお問い合わせはご遠慮ください。

## 1講座ごとに受講する

◇受講料 1,000円（1回）

◇申込方法 当日、会場へ直接お越しいただき、受付で受講料をお支払ください。

【注記】1.京カレッジ生で定員を満たした場合は入場をお断りすることがあります。

2.実地講座の参加は京カレッジ生のみの受付となりますのでご了承ください。

## 〈大学コンソーシアム京都加盟校の学生について〉

①②に該当する学生は無料で受講できます。実地講座に参加する場合は京カレッジ生として申し込む必要がありますので、学生証のコピーを必ず添付して期間内に出願をしてください。講座ごとで受講する場合は、直接会場の受付で学生証を提示してください。

①大学コンソーシアム京都加盟校の学生・留学生（大学院・専攻科・通信教育課程生を除く）

②放送大学京都学習センター全科履修生

### 個人情報の取り扱いについて

提供いただいた個人情報は「京カレッジ」に関する運営（諸連絡や募集ガイドの郵送等）で使用するもので、他の目的で使用することはございません。

### 〈お問い合わせ・資料請求先〉



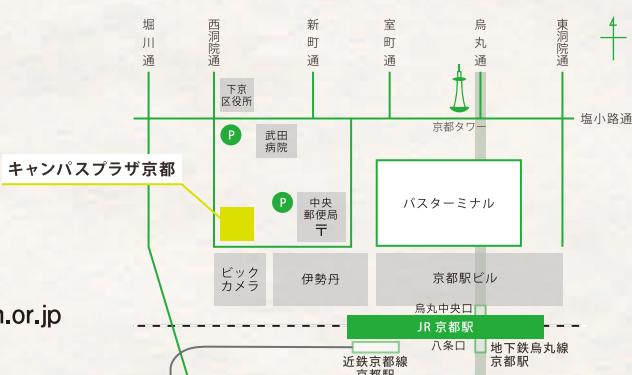
大学コンソーシアム京都  
法人 The Consortium of Universities in Kyoto

受付時間／9:00～17:00(日・月曜除く)

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都1階

TEL.075-353-9140 FAX.075-353-9121 E-Mail : miyakare@consortium.or.jp

<http://www.consortium.or.jp/> 京カレッジ 検索



京都学講座「京のまつりと賑わい」開講記念講座

# 「京の四季とまつり」

入場無料  
申込不要

今年度は京都学講座開講15年目を記念し、特別企画として「京のまつりと賑わい」

と題する連続講座を開講いたします。開講に先立ち、一年を通してみた京の祭りと  
その背後に見え隠れする人々の祈りの心についてご紹介したいと思います。

さらに、祇園東で活躍されている芸妓さんに加わっていただき、花街の行事や花街  
から見た京の祭りの風情についてお話しいただきます。



日 時 2015年3月7日(土) 13:30~15:30(開場13:00)

場 所 キャンパスプラザ京都(4階第2講義室) 京都市下京区西洞院通塩小路下る

定 員 280名(先着順受付) 参加費 無料

講 師

八木 透さん 佛教大学歴史学部教授

[略歴] 1955年京都生まれ。同志社大学文学部卒。佛教大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得。博士(文学)。専門は民俗学。著書に『京都愛宕山と火伏せの祈り』(昭和堂)、『京都の夏祭りと民俗信仰』ほか多数。世界鬼学会会長や祇園祭綾傘鉾保存会理事なども務めている。



八木 透さん(佛教大学教授)

講 師

雛菊さん 祇園東芸妓

[略歴] 京都市東山区出身。舞子の稽古や着物姿に憧れて15歳で花街入り。踊り、お茶、お囃子、笛、長唄を習得し、現在は祇園東にて芸妓として活躍中。趣味はスイミング、相撲や映画の鑑賞にお酒。



雛菊さん(祇園東芸妓)

## 「京カレッジ」受講生募集!

「京カレッジ」とは、京都市・大学コンソーシアム京都が主催する生涯学習事業で、どなたでも受講いただけます。大学の正規科目が受講できるほか、「市民教養講座」や「京都力養成コース」といった大学の公開講座など400を超える科目・講座を提供しています。詳しくは「京カレッジ生募集ガイド」または京カレッジホームページをご覧ください。

【出願期間】《郵送》2015年3月10日(火)~21日(土・祝)必着

※持参は20日(金)・21日(土)10:00~16:00の2日間、キャンパスプラザ京都で受け付けます。

【出願方法】募集ガイドに添付の出願票を提出してください(出願票はホームページからも出力できます)。

### 《資料請求方法について》

郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、電話番号をメール、郵便はがき、FAXにて大学コンソーシアム京都(京カレッジ担当)へお知らせください。ホームページには請求フォームもあります。発送は3月初旬となります。また、以下の配布先でも入手できます。なお、お電話でのご請求はご遠慮願います。



【募集ガイド配布先(3月初旬配布開始)】キャンパスプラザ京都・京都市役所案内所・区役所・支所・市図書館

# 京のまつりと賑わい



第1回 2015年  
4/25(土)

## 葵祭



## 葵祭

**葵祭**  
猪熊 兼勝 京都橋大学名誉教授、葵祭行列保存会会長  
春、京都三大祭は葵祭から始まります。都を山城国に遷都した桓武天皇の使いが、賀茂の神に報告したことが始まりといわれ、毎年決まる貴公子の勅使姿を見ようと、高貴な女性達は、牛車の場所取りを争いました。貴族の日記や王朝文学に登場する風物詩であります。かつて、宮中で天皇に挨拶する宮中の儀、市中を進む路頭と社頭の儀がありましたが、宮中の儀は中止になりました。今も千年以上にわたり王朝の風俗を動態で見られる唯一の祭りの魅力を探ります。



## 大根焚



第14回 2016年  
1/16(土)

## 節分

～春を招く行事と鬼  
橋本 章 京都文化博物館学芸員  
節分は私たちの暮らしに馴染みの深い行事ですが、いろいろと不思議な側面があります。節分が2月初旬に行なわれる理由は何か？節分に鬼がやって来るのは何故か？そもそも「節分」とはどういう意味なのか？など、深く考えてみると謎が多いのが節分という行事です。本講座では、節分の由来や意味を探ります。そして、3月の桃の節句についても言及し、春という観点から年中行事の文化について概観します。



第13回 12/12(土)

## 師走から正月の祓えと悔過

八木 透 佛教大学歴史学部教授

師走、すなわち旧暦12月はどのような意味を有する月だったのでしょうか。それはおそらく「大祓え」のための月だったのではないかと思います。近世までの京では、師走には朝廷を中心として「大祓え」という行事が行われていました。では庶民たちはどのようにして罪やケガれを祓ったのでしょうか。寺院で行われる悔過の行事を題材として、かつての京の師走と新年の情景について考えてみたいと思います。

第12回 11/28(土)

## おけらまいり

～賑わいを支える匠たち

青江 智洋 京都府立山城郷土資料館資料課技師  
(ふるさとミュージアム山城)

おけらまいりは、京都の年越しを彩る暮らしの行事として知られています。大晦日から元旦にかけて八坂神社へ参詣し、境内の白朮灯籠の火を繩に移して持ち帰るというもので、この火で雑煮を炊き、1年の無病息災を願うことが氏子をはじめ京都人の習わしとされてきました。今回は、その歴史をたどるとともに、おけらまいりを支える人々、とりわけ竹製火繩を作り続ける匠に注目します。



## おけらまいり

八木 透 佛教大学歴史学部教授

京において秋から冬に行われる祭りには、火をめぐる信仰が見え隠れしています。火は貴重な恵みを私たちに与えてくれる、暮らしに必要な存在ではありますが、一方ですべてのものを焼き滅ぼしてしまう、恐ろしい力を持った魔物もあります。特に11月に行われる「御火焚」や12月初旬の「大根焚」は、京の秋から冬を代表する火まつりです。人々の中に古くから息づく素朴な火への信仰について考えてみたいと思います。

第11回 10/24(土)

## 霜月の御火焚と大根焚

八木 透 佛教大学歴史学部教授

京において秋から冬に行われる祭りには、火をめぐる信仰が見え隠れしています。火は貴重な恵みを私たちに与えてくれる、暮らしに必要な存在ではありますが、一方ですべてのものを焼き滅ぼしてしまう、恐ろしい力を持った魔物もあります。特に11月に行われる「御火焚」や12月初旬の「大根焚」は、京の秋から冬を代表する火まつりです。人々の中に古くから息づく素朴な火への信仰について考えてみたいと思います。



## 御火焚

## 鞍馬の火祭



第10回 10/10(土)

## 鞍馬の火祭

福持 昌之 京都市文化財保護課技師

勇壮な松明行事として知られる鞍馬の火祭。しかし、本来の主役は2基の神輿です。例年10月22日の夜、由岐神社から御旅所へ迎え、翌日に送る儀式が執り行われます。松明は、氏子による神輿迎えの行列の一要素に過ぎません。この講座では、七仲間と呼ばれる氏子組織それぞれの役割と準備や当日の動き、そして神輿や剣鉾などの諸要素について解説し、祭りの全体像について理解を深めてもらおうと思います。

第9回 10/3(土)

## 時代祭

猪熊 兼勝 京都橋大学名誉教授、時代祭考証委員

120年前、皇居が江戸へ移って30年近く、京都の再生を象徴する博覧会を契機に時代祭が誕生しました。それは京都千年の歴史を風俗で振り返り、列の最後に京都を首都にした要人達が登場します。馬上に、近所の「オジサン」の緊張した姿を見かけるのも時代祭ならではです。個々の衣装は、厳密な考証で復元したもので、京都の伝統技術の結晶です。考証の舞台裏や祭りの苦労もお伝えします。



## 時代祭



## 時代祭

三枝 晓子 立命館大学文学部准教授

10月1日から5日にかけ開催される「ずいき祭」は、旧北野天満宮領「西之京」の人々の天神信仰の歴史を今に伝える貴重な祭りです。とりわけ4日の「ずいきみこし」の巡行は、「野菜みこし」の巡行として注目を集めています。そこで本講座では、ずいき祭の歴史とともに、ずいきみこしの構造や制作過程、さらには制作に携わる人々を紹介することにより、天神信仰によって結ばれた地域の歴史と文化に対する理解を深めていきたいと思います。



## 松上げ



## 松上げ

鶴岡 均 京都愛宕研究会会長

「阿多古社符 火迺要慎」でおなじみの、愛宕神社のお札。例年7月31日の「千日詣り」には千日分ご利益があるとされ、お札を求めて多くの参詣者が愛宕さんへお参りをされます。また、それぞの地域には、愛宕信仰に基づくとされる、松上げをはじめとした特色ある行事が分布しています。本講座では、暮らしに根付いた火の信仰や行祭について考えてみたいと思います。



## 松上げ



## 松上げ

鶴岡 均 京都愛宕研究会会長

「阿多古社符 火迺要慎」でおなじみの、愛宕神社のお札。例年7月31日の「千日詣り」には千日分ご利益があるとされ、お札を求めて多くの参詣者が愛宕さんへお参りをされます。また、それぞの地域には、愛宕信仰に基づくとされる、松上げをはじめとした特色ある行事が分布しています。本講座では、暮らしに根付いた火の信仰や行祭について考えてみたいと思います。



## 松上げ



## 松上げ

鶴岡 均 京都愛宕研究会会長

「阿多古社符 火迺要慎」でおなじみの、愛宕神社のお札。例年7月31日の「千日詣り」には千日分ご利益があるとされ、お札を求めて多くの参詓者が愛宕さんへお参りをされます。また、それぞの地域には、愛宕信仰に基づくとされる、松上げをはじめとした特色ある行事が分布しています。本講座では、暮らしに根付いた火の信仰や行祭について考えてみたいと思います。



## 松上げ



## 松上げ

鶴岡 均 京都愛宕研究会会長

「阿多古社符 火迺要慎」でおなじみの、愛宕神社のお札。例年7月31日の「千日詣り」には千日分ご利益があるとされ、お札を求めて多くの参詓者が愛宕さんへお参りをされます。また、それぞの地域には、愛宕信仰に基づくとされる、松上げをはじめとした特色ある行事が分布しています。本講座では、暮らしに根付いた火の信仰や行祭について考えてみたいと思います。



## 松上げ



## 松上げ

鶴岡 均 京都愛宕研究会会長

「阿多古社符 火迺要慎」でおなじみの、愛宕神社のお札。例年7月31日の「千日詣り」には千日分ご利益があるとされ、お札を求めて多くの参詓者が愛宕さんへお参りをされます。また、それぞの地域には、愛宕信仰に基づくとされる、松上げをはじめとした特色ある行事が分布しています。本講座では、暮らしに根付いた火の信仰や行祭について考えてみたいと思います。



## 松上げ



## 松上げ

鶴岡 均 京都愛宕研究会会長

「阿多古社符 火迺要慎」でおなじみの、愛宕神社のお札。例年7月31日の「千日詣り」には千日分ご利益があるとされ、お札を求めて多くの参詓者が愛宕さんへお参りをされます。また、それぞの地域には、愛宕信仰に基づくとされる、松上げをはじめとした特色ある行事が分布しています。本講座では、暮らしに根付いた火の信仰や行祭について考えてみたいと思います。



## 松上げ



## 松上げ

鶴岡 均 京都愛宕研究会会長

「阿多古社符 火迺要慎」でおなじみの、愛宕神社のお札。例年7月31日の「千日詣り」には千日分ご利益があるとされ、お札を求めて多くの参詓者が愛宕さんへお参りをされます。また、それぞの地域には、愛宕信仰に基づくとされる、松上げをはじめとした特色ある行事が分布しています。本講座では、暮らしに根付いた火の信仰や行祭について考えてみたいと思います。



## 松上げ



## 松上げ

鶴岡 均 京都愛宕研究会会長

「阿多古社符 火迺要慎」でおなじみの、愛宕神社のお札。例年7月31日の「千日詣り」には千日分ご利益があるとされ、お札を求めて多くの参詓者が愛宕さんへお参りをされます。また、それぞの地域には、愛宕信仰に基づくとされる、松上げをはじめとした特色ある行事が分布しています。本講座では、暮らしに根付いた火の信仰や行祭について考えてみたいと思います。



## 松上げ



## 松上げ

鶴岡 均 京都愛宕研究会会長

「阿多古社符 火迺要慎」でおなじみの、愛宕神社のお札。例年7月31日の「千日詣り」には千日分ご利益があるとされ、お札を求めて多くの参詓者が愛宕さんへお参りをされます。また、それぞの地域には、愛宕信仰に基づくとされる、松上げをはじめとした特色ある行事が分布しています。本講座では、暮らしに根付いた火の信仰や行祭について考えてみたいと思います。



## 松上げ



## 松上げ

鶴岡 均 京都愛宕研究会会長

「阿多古社符 火迺要慎」でおなじみの、愛宕神社のお札。例年7月31日の「千日詣り」には千日分ご利益があるとされ、お札を求めて多くの参詓者が愛宕さんへお参りをされます。また、それぞの地域には、愛宕信仰に基づくとされる、松上げをはじめとした特色ある行事が分布しています。本講座では、暮らしに根付いた火の信仰や行祭について考えてみたいと思います。



## 松上げ



## 松上げ

鶴岡 均 京都愛宕研究会会長

「阿多古社符 火迺要慎」でおなじみの、愛宕神社のお札。例年7月31日の「千日詣り」には千日分ご利益があるとされ、お札を求めて多くの参詓者が愛宕さんへお参りをされます。また、それぞの地域には、愛宕信仰に基づくとされる、松上げをはじめとした特色ある行事が分布しています。本講座では、暮らしに根付いた火の信仰や行祭について考えてみたいと思います。



## 松上げ



## 松上げ

鶴岡 均 京都愛宕研究会会長

「阿多古社符 火迺要慎」でおなじみの、愛宕神社のお札。例年7月31日の「千日詣り」には千日分ご利益があるとされ、お札を求めて多くの参詓者が愛宕さんへお参りをされます。また、それぞの地域には、愛宕信仰に基づくとされる、松上げをはじめとした特色ある行事が分布しています。本講座では、